

施策評価シート

施策コード	1202	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
施策名	文化財の保存・活用	所属名 教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ

2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○本市は、恵まれた自然環境のもとで、長い歴史と伝統文化に支えられ、山陰地方を代表する都市として発展したまちであり、国史跡の鳥取城跡附太閤ヶ平・青谷上寺地遺跡や、国重要文化財仁風閣・旧美敷水源地水道施設など数多くの文化財が所在しています。</p> <p>○市民が親しみを持って文化財に接し、郷土の歴史と文化への理解を深めることは、市民の郷土愛や誇りを醸成するとともに、文化交流が促進され、本市の魅力や活力の創造につながります。</p> <p>○文化財とその周辺の歴史・文化を生かしたまちづくりは、市民をはじめ観光客など来訪者の魅力となり、観光や地場産業の振興、交流人口の増加などによる地域の活性化が期待されます。</p> <p>○市民一人ひとりが先人から継承した文化財の重要性を認識し、地域が一体となって保護・活用することで後世に引き継ぐことが必要であり、そのための計画的・体系的な施策の構築が求められています。</p>
めざす方向	歴史と文化の薫りに満ちた活力のあるまちづくりを推進し、文化財への愛護精神の高揚を図るとともに、保護と活用により郷土の誇りである文化財を次代へ継承します。また、本市の誇り得る文化財を全国へ発信し、夢のあるふるさとづくりにつなげます。
達成するための対策・手段	<p>①指定文化財の保護と活用</p> <p>②文化財保護のための地域活動の推進</p> <p>③文化施設の体系的整備と活用</p> <p>④鳥取城跡の整備・活用（大手登城路の復元等）</p> <p>⑤子ども考古学教室等の体験学習活動の推進</p> <p>⑥発掘調査・整備工事等の現地説明会の開催</p> <p>⑦非公開の文化財の特別公開事業</p> <p>⑧歴史文化基本構想の策定</p>

3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

指標名		単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合	%	目標	0	0	0	67	0
			実績	0	0	0	62	0
			目標達成率				93%	
(指標の説明) 市民アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした市民の割合。(基準値は平成21年度)								
2	主な文化財施設への入込数	人	目標	100000	101000	102000	103000	104000
			実績	108052	103366	110629	102308	112859
			目標達成率	108%	102%	108%	99%	109%
(指標の説明) 鳥取市歴史博物館、鳥取市因幡万葉歴史館、仁風閣、鳥取市あおや郷土館、青谷上寺地遺跡展示館の入込数の合計。(基準値は平成21年度)								
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
			目標達成率					
(指標の説明)								

4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	408,446	408,112	412,759	459,465	464,725

5. 施策の成果【CHECK】

<p>施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)</p>	<p>現在取り組んでいる事業の着実な進捗を図るとともに、より計画的・体系的な施策の構築を目指していく。</p> <p>人口減少や地域社会の高齢化等により、県指定・市指定だけでなく、国指定文化財においても、今後、管理・保護の負担に耐えられない所有者が生じる可能性もあるため、将来にわたる保護・活用を担保するためにも、指定文化財・未指定文化財を問わず市域の全体状況を把握し、今後、全体計画(「歴史文化基本構想」等)を立案していきたい。</p>
---	---

6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
<p>担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載</p>	<p>永続的な文化財の保存と活用のため、長期的・総合的な視点で取り組んでいく。</p>

事務事業評価シート

事務事業コード	000727	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	指定文化財等管理事業(指定文化財等管理)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	直営
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	指定文化財等管理費			予算事業コード	01-09-04-05-02-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	・指定文化財(国・県・市など)
意図 (どのような状態にするために)	・文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	・指定文化財を適正に保存・管理するため、清掃管理等を地域の住民にお願いする。 ・指定文化財を市民に広く周知し、啓発するため案内板・道標等を設置する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置	平成24年度 ①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置	平成25年度 ①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置	平成26年度 ①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置 ③民俗芸能の映像記録	平成27年度 ①指定文化財の清掃管理 ②案内板などの設置	
	年度別実績	①指定文化財の清掃管理を実施。 ②案内板などの設置をした。	①指定文化財の清掃管理を実施。 ②案内板などの設置をした。	①指定文化財の清掃管理を実施。 ②案内板などの設置をした。	①指定文化財の清掃管理を実施。 ②案内板などの設置をした。 ③民俗芸能の映像記録を実施した。 ④因幡国庁跡の四阿を修理した。	①指定文化財の清掃管理を実施。 ②案内板などの設置をした。 ③指定文化財の修理を行った。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,891	5,762	6,283	11,096	6,435	
	直接経費 A	2,142	2,049	2,640	7,335	2,756	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	2,009	9
一般財源	2,142	2,049	2,640	5,326	2,747		
人件費 B	3,749	3,713	3,643	3,761	3,679		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	文化財案内看板等設置数	単位	件	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		目標	12	10	10	15	15					
	実績	5	6	6	2	2						
	(指標の説明) 文化財の活用を推進するため、案内看板・道標等を設置する											
	2	目標	0	0	0	0	0					
		実績	0	0	0	0	0					
(指標の説明)												
3	目標	0	0	0	0	0						
	実績	0	0	0	0	0						
(指標の説明)												

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 1202</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 市が所有または管理する指定文化財等について、適正な管理を図る。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>◎指定文化財の草刈清掃 (鳥取地域) (国) 布勢古墳 (18人) ・ 太閤ヶ平 (28人) (市) 大熊段古墳 (9人) ・ 離水海食洞 (3人) (国府地域) (国) 栃本廃寺跡 (11人) (市) 町屋宝篋印塔 (4人) (河原地域) (市) 武田高信の墓 (3人) (用瀬地域) (市) 東光寺山経塚参道 (4人) (佐治地域) (県) 辰巳峠の植物化石層 (3人)</p> <p>◎文化財保護に関する会議への参加</p> <p>◎指定文化財標識の新設及び維持管理 案内板等の新設・修繕 亀井公墓所標柱ほか 清掃等管理委託 (国) 梶山古墳・(国) 因幡国庁跡</p> <p>【今後の課題・方向性】 既存の文化財の適正な管理とともに、未指定の文化財等の調査・把握に努める。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	文化財案内看板等設置数	42%	60%	60%	13%	13%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民共通の財産である文化財の適正な保護が図られる。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	現状で文化財を適正に管理できている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	効率的な事業実施に努めている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	文化財保護制度は市民に広く認知されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	既存の文化財の適正な管理とともに、未指定の文化財等の調査・把握に努める。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000728	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	指定文化財等管理事業(池田家墓所)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成16年度 ~ 平成32年度
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	補助金交付
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	史跡鳥取藩主池田家墓所管理補助金			予算事業コード	01-09-04-05-02-03

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡鳥取藩主池田家墓所
意図 (どのような状態にするために)	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が事業主体となり、平成15年度に策定した「保存整備計画」に基づく復元や保存修理・環境整備を行う。また、その成果を活用し、文化財の利活用を推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	平成24年度 藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	平成25年度 藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	平成26年度 藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	平成27年度 藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	
	年度別実績	藩主墓の保存整備工事に係る調査・設計・伐採業務、保存整備委員会の開催、史跡管理と啓発事業	藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会の開催・次年度工事の設計、史跡管理と啓発事業	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	7,200	11,297	15,704	18,031	14,867	
	直接経費 A	5,701	9,812	14,247	16,527	13,396	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	2,000	0	0	0	0
一般財源	3,701	9,812	14,247	16,527	13,396		
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		池田家墓所を活用したイベントへの来場者数	人	目標	300	300	700	800	800
	実績	500	500	800	800	800			
2		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0		
	(指標の説明)								
3		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0		
	(指標の説明)								

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-20-3359</p> <p>【9次総の施策体系】1202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P248(教048)</p> <p>【事業の概要】 鳥取藩主池田家墓所は、(公財)史跡鳥取藩主池田家墓所保存会が事業主体となり、日常的な管理事業及び保存修理事業を実施し、いずれも「公益財団法人史跡鳥取藩主池田家墓所保存会運営補助金等交付要綱」に基づいて鳥取市は補助負担している。このうち、保存修理事業は、平成15年度に策定した保存整備計画に基づき、劣化の進行した個所に関する保存修理を実施中である。事業期間は、平成16年度から平成32年度までの予定。</p> <p>【事業の成果】 経費及び管理費の一部を補助し、文化財の保護・保存を図る。 ◎管理事業 ※管理人報酬・理事会と啓発事業(①燈籠会②写真コンクール開催等)を実施した。</p> <p>◎保存修理事業 ※藩主墓の保存整備工事・設計監理・保存整備委員会(2回)・翌年度の設計を実施した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成32年度の事業完了に向け、着実な事業実施を図る。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	池田家墓所を活用したイベントへの来場者数	167%	167%	114%	100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民の共有財産である文化財を対象としている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	文化財の滅失を防ぐとともに、その活用が地域の活性化につながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	公益財団法人によって取り組まれており、対費用効果は高い。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	文化財の保存活用によって得られる有形無形の利益は、広く市民に還元されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	今後も県と共同で適正な管理・活用を進めていく。		
担当課長の評価コメント			

事務事業評価シート

事務事業コード	000730	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	指定文化財等管理事業(指定文化財・登録有形文化財)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	補助金交付
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	指定文化財補助金			予算事業コード	01-09-04-05-02-14

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	・指定文化財(国・県・市)
意図 (どのような状態にするために)	・文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	・指定文化財の所有者等が事業主体となり、文化財の保存修理・管理・公開に係る事業に対し補助金を支出し、文化財の適正な保存・管理・活用を推進する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出する。	平成24年度 指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出する。	平成25年度 指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出する。	平成26年度 指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出する。	平成27年度 指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出する。	
	年度別実績	指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出した。	指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出した。	指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出した。	指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出した。	指定文化財の保存修理・管理・公開等に係る事業に対し、補助金を支出した。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,621	7,165	8,908	4,448	6,234	
	直接経費 A	4,122	5,680	7,451	2,944	4,763	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	740	1,009	345	539
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	4,122	4,940	6,442	2,599	4,224	
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		指定文化財において適正な保存修理・管理をなされた数	件	目標	33	30	30	30	31
			実績	28	32	35	30	32	
	(指標の説明) 指定文化財において適正な保存修理・管理をなされた数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 1202</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 指定文化財(国・県・市・登録文化財)を後世に残していくための事業費や、伝統行事・民俗芸能など、後継者育成に力を入れるための事業費に対して補助する。「文化財の保存及び保護に関する補助金等交付要綱」により補助。</p> <p>【事業の成果】 ◎指定文化財(A有形文化財・B無形民俗文化財)の管理及び公開・育成事業への補助 A(気高地域)…4件(佐治地域)…2件 (用瀬地域)…2件(河原地域)…1件 (鳥取地域)…7件(国府地域)…5件 B(気高地域)…4件 (青谷地域)…1件 ◎指定文化財の保存修理事業への補助 木下家住宅修理(西側屋根の葺き替え)、福田家住宅修理(建具・畳・床等) 三角山神社修理(頂上社殿上屋改修)、東井神社修理(神殿回廊改修) 石造観音菩薩像(収蔵施設屋根葺き替え及び格子戸設置) 賀露神社春季祭礼行事用具修理(桧扇8本、花かんざし8頭) 馬場八幡人形芝居道具保存修理(人形かしら3点) ◎県指定文化財緊急防災防犯対策事業への補助(県20/100、市25/100で計45/100を補助) 奥田家土蔵防犯事業(県指定文化財 絹本着色阿弥陀三尊来迎図の防犯対策)</p> <p>【今後の課題・方向性】 文化財の現状を注視しつつ、必要に応じて所有者の取り組みを補助していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	指定文化財において適正な保存修理・管理をなされた数	85%	107%	117%	100%	103%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市が指定文化財の適正な保護を図るために必要であり、対象は国・県・市の指定文化財である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	所有者による適正な文化財の保護につながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	文化財を良好な状態に保つことができている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	補助対象は指定文化財の所有者であり、適正な負担割合である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	文化財の現状を注視しつつ、必要に応じて所有者の取り組みを補助していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000736	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備事業(鳥取城跡保存修理)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分	
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	昭和32年度 ~ 全期	
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例	
施策	1202	文化財の保存・活用					
施策の目標	目標の種別			平成23年度	平成27年度	事業分類区分	
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合			0%	0%		建設、整備
	主な文化財施設への入込数			8,052人	4,000人	運営方法	直営
予算	予算事業名	鳥取城跡保存修理事業費			予算事業コード	01-09-04-05-06-01	
				0	0	会計区分	一般会計

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡鳥取城跡附太閤ヶ平
意図 (どのような状態にするために)	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	「保存整備基本計画」に基づき、史跡鳥取城跡の建造物の復元や石垣の修理、環境整備などを行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 大手登城路擬宝珠橋跡発掘調査・楯蔵跡の環境整備工事	平成24年度 風呂屋御門跡下石垣修復工事・整備に係る発掘調査	平成25年度 石垣カルテに基づく必要な箇所の修理工事・整備に係る発掘調査・大手登城路復元整備に係る実施設計	平成26年度 石垣カルテに基づく必要な箇所の修理工事・整備に係る発掘調査・大手登城路復元整備に係る実施設計	平成27年度 石垣カルテに基づく必要な箇所の修理工事・整備に係る発掘調査・大手登城路復元整備に係る実施設計	
	年度別実績	大手登城路擬宝珠橋跡発掘調査・楯蔵跡の環境整備工事	大手登城路復元にかかる発掘調査、記録作成・天球丸跡巻石垣前広場整備工事、記録作成・次年度以降工事にかかる発掘調査、記録作成、設計	・大手登城路復元にかかる発掘調査、記録作成 ・天球丸腰石垣修復工事、発掘調査、記録作成 ・次年度以降工事に係る発掘調査、記録作成、設計	・大手登城路復元にかかる発掘調査、記録作成 ・天球丸腰石垣修復工事、発掘調査、記録作成 ・次年度以降工事に係る発掘調査、記録作成、設計	・大手登城路復元にかかる発掘調査、記録作成 ・天球丸腰石垣修復工事、発掘調査、記録作成 ・次年度以降工事に係る発掘調査、記録作成、設計	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	105,734	64,701	84,308	97,828	125,660	
	直接経費 A	92,989	52,077	71,923	85,041	113,153	
	直接経費の財源内訳	国・県	61,596	34,605	47,571	56,673	73,959
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	1,000	0
一般財源	31,393	17,472	24,352	27,368	39,194		
人件費 B	12,745	12,624	12,385	12,787	12,507		
職員数の内訳	正規職員	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	大手登城路の発掘調査の進捗率	単位	%	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
			目標	80	90	95	100	100			
		実績	80	90	95	97	98				
	(指標の説明) 復元整備事業に必要な調査の進捗率										
	2	天球丸腰石垣修復工事	単位	%	目標	5	10	50	100	100	
			実績	5	5	40	80	95			
(指標の説明) 天球丸腰石垣修復工事の進捗率											
3	大手登城路復元整備事業	単位	%	目標	0	0	0	10	20		
		実績	0	0	0	10	20				
(指標の説明) 大手登城路の復元整備工事を実施する。											

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取城整備推進係 0587-20-3359</p> <p>【9次総の施策体系】1202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P249(教049)</p> <p>【事業の概要】 鳥取城跡附太閤ヶ平は、昭和32年に国指定文化財になって以後、年次計画で昭和18年の鳥取大震災等で損傷した石垣の保存修理を実施してきた。現在は、「史跡鳥取城跡保存整備実施計画」(平成18年度策定)に基づき、平成30年度を目標に大手登城路復元整備事業に取り組んでおり、復元の資料を得るための発掘調査を、平成20年度より補助事業として実施している。</p> <p>【事業の成果】 復元整備に取り組んでいる大手登城路の建物のうち、平成27年度に「擬宝珠橋」「表御門」の復元について、文化庁から許可を得ることができ、実際の復元工事に着手できるようになった。 鳥取城跡の復元整備・環境整備を実施することで、市民の文化財保護意識を醸成するとともに、来訪者の増加等、市の代表的な史跡として活用を図ることができた。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成30年代前半期の完成を目指して大手登城路の復元整備を進めるとともに、史跡全体の整備活用を図っていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	大手登城路の発掘調査の進捗率	100%	100%	100%	97%	98%
	2	天球丸腰石垣修復工事	100%	100%	80%	80%	80%
	3	大手登城路復元整備事業				100%	100%

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民からのニーズが高く、国指定文化財として整備活用を進める必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	史跡を保存し活用するためには不可欠な事業である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	文化財の保存整備工事として、高い水準の工事等を適正な費用で実施している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	整備活用の利益は市民に広く還元される。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 大手登城路の復元整備・石垣の保存修理等を着実に実施していく。		

事務事業評価シート

事務事業コード	000748	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	史跡等保護・整備事業(青谷上寺地遺跡)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成16年度 ~ 全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	直営
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	上寺地遺跡管理事業費			予算事業コード	01-09-04-05-16-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	史跡青谷上寺地遺跡
意図 (どのような状態にするために)	史跡青谷上寺地遺跡は現在14万6,132.99㎡の広さがあり、市有地、県有地及び私有地が混在しており、史跡内の私有地について県が公有地化を進めている。平成22年3月に策定した「国史跡青谷上寺地遺跡 保存管理計画及び整備活用基本計画」に沿って、史跡内の環境保持と情報発信に努めるとともに、平成28年度から県と共同で史跡整備の具体化を進め、歴史遺産を活かした地域活性化や郷土の誇りにつなげる。
手段 (どうするのか)	史跡地内の市有地及び県有地については、史跡整備まで市及び県それぞれが除草・水路管理等を実施するものとし、情報発信及び体験事業については、県、市及び関係団体で組織する青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会で連携して活動を行い、全国的な知名度アップと来訪者数の増加を目指す。また、史跡整備については、これまでの発掘調査成果等を踏まえ、平成28年度から30年度にかけて県と共同で基本設計を行い、整備を進めていく。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 史跡地内の維持管理	平成24年度 史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施	平成25年度 史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施	平成26年度 史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施	平成27年度 史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施	
	年度別実績	史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施	史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施	史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施	史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施	史跡地内の維持管理 史跡保存活用協議会の開催・事業実施	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,293	4,180	6,124	5,826	5,868	
	直接経費 A	1,294	1,210	3,210	2,817	2,925	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,294	1,210	3,210	2,817	2,925		
人件費 B	2,999	2,970	2,914	3,009	2,943		
職員数の内訳	正規職員	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		史跡内の草刈等の環境整備実施回数	回	目標	4	4	4	4	4
	(指標の説明)		実績	3	4	4	4	4	
2				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0
3				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 1202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P250（教052）</p> <p>【事業の概要】 青谷上寺地遺跡は「地下の弥生の博物館」と称される、弥生時代の多種多様な遺物が大量に出土している貴重な遺跡であり、平成20年に国史跡に指定された。その後も、平成22年8月5日、平成23年9月21日、平成25年10月17日及び平成26年10月6日付で追加指定され、現在の指定面積は146,132.99㎡である。 史跡の保存活用事業推進のため、平成22年度に鳥取県と鳥取市を事務局とする青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会を設立し、史跡指定地内での田んぼアート、古代米栽培や料理講座、キャラクター募集等、様々な活動を行うとともに、史跡整備については、平成28年度から県と共同で基本設計に着手し、整備を進めていく。</p> <p>【事業の成果】 青谷上寺地遺跡公園の遺跡保護と景観の保全管理のため、史跡地内の除草作業を実施した。また、史跡保存活用協議会が行う体験事業や情報発信等の事業により、史跡の活用が図られた。</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き遺跡の保存管理に務めながら、史跡地内の公有化が平成29年度に概ね完了するため、平成28年度から県と共同で史跡整備に向けた基本設計に着手する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	史跡内の草刈等の環境整備実施回数	75%	100%	100%	100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	弥生人の脳が出土するなど、全国的にも極めて貴重な遺跡であり、郷土の誇りと地域活性化に資する。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	貴重な遺跡の存在を広く知らしめ、適正に管理するために不可欠な事業である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	史跡内の除草と青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会の取り組みにより、効率的に事業が実施されている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	事業の成果は、関係者や来訪者のほか、歴史学習の場等としても市民に還元されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>青谷上寺地遺跡の史跡整備までの間、遺跡の環境保護や青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会による体験事業等を進めながら情報発信に努めてきたが、平成28年度から史跡整備へ向けた基本設計に着手する。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	000751	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	史跡等保護・整備事業(美歎水源地)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成19年度 ~ 平成30年度
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	直営
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	美歎水源地保存整備事業費		予算事業コード	01-09-04-05-25-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	重要文化財旧美歎水源地水道施設
意図 (どのような状態にするために)	文化財として良好な状態で保存・活用し、地域資源としての価値を高める。
手段 (どうするのか)	建造物の保存修理と環境整備を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 調査工事 特別公開の実施 建造物保護覆屋設置	平成24年度 調査工事 特別公開の実施 建造物保護覆屋設置	平成25年度 修理工事 特別公開の実施 建造物保護覆屋設置 委員会の実施	平成26年度 修理工事 環境整備工事 特別公開の実施 委員会の実施	平成27年度 修理工事 環境整備工事 特別公開の実施 委員会の実施	
	年度別実績	調査工事(建造物、地盤、橋梁) 特別公開の実施 建造物保護覆屋設置	調査工事 特別公開の実施 建造物保護覆屋設置	修理工事 特別公開の実施 建造物保護覆屋設置 委員会の実施	修理工事 環境整備工事 特別公開の実施 委員会の実施	修理工事 環境整備工事 特別公開の実施 委員会の実施	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	17,187	25,633	17,964	34,997	48,812	
	直接経費 A	11,939	20,435	12,864	29,732	43,662	
	直接経費の財源内訳	国・県	7,406	12,556	7,473	19,613	28,863
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,533	7,879	5,391	10,119	14,799		
人件費 B	5,248	5,198	5,100	5,265	5,150		
職員数の内訳	正規職員	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		美歎水源地の建造物修理工事の進捗率	%	目標	0	0	20	50	70	
			実績	0	0	20	50	70		
	(指標の説明) 建造物の保存修理の進捗率									
	2	特別公開・見学会等の参加人数	人	目標	0	0	150	200	250	
				実績	0	0	150	100	130	
(指標の説明)										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】鳥取城整備推進係 0857-20-3359</p> <p>【9次総の施策体系】1202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P251(教053)</p> <p>【事業の概要】 旧美敷水源地水道施設は、鳥取市の水がめとして大正から昭和にかけて60年にわたって使用された水道施設で、かつての上水道施設のありようを伝える貴重な近代化遺産として、平成19年6月に国の重要文化財に指定された。これを受け「旧美敷水源地水道施設保存整備基本計画」を策定、この計画に基づき、平成20年度から長期的視点に立った保存整備を行っている。</p> <p>【事業の成果】 (1) 国庫補助事業により、建造物保存修復工事、環境整備工事を実施した。 (2) 利活用事業として特別公開を実施した。 (3) 市民と専門家で構成する保存整備検討委員会及び建造物保存修復検討部会を開催した。 (4) 「全国近代化遺産活用連絡協議会」に参加し、情報交換等を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成30年度内の事業完了を目標に着実に事業を実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	美敷水源地の建造物修理工事の進捗率			100%	100%	100%
	2	特別公開・見学会等の参加人数			100%	50%	50%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	山陰初の水道施設として重要文化財に指定されており、保存・活用に取組む必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	経年変化による劣化が進んでおり、文化財保存のための修理は緊急を要する。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	他に例のない文化財建造物であり、修理方針の確立等に時間を要している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	文化財として、広く市民に還元される。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	保存修理事業は平成29年度末まで、環境整備事業は平成30年度での事業完了を目標に着実に実施する。整備完了後は一般公開を行う。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000743	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業(文化財調査)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	直営
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	文化財調査費		予算事業コード	01-09-04-05-11-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	開発原因者
意図 (どのような状態にするために)	遺跡の範囲を確認し、開発事業との調整を図る。
手段 (どうするのか)	開発事業計画区域内に試掘調査を実施し、遺跡の有無を確認する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	試掘調査の実施	試掘調査を実施	試掘調査を実施	試掘調査を実施	試掘調査を実施	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	36,127	41,498	30,497	26,387	24,285	
	直接経費 A	24,881	30,359	19,569	15,104	13,249	
	直接経費の財源内訳	国・県	8,322	11,962	8,684	6,564	5,758
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	16,559	18,397	10,885	8,540	7,491	
人件費 B	11,246	11,139	10,928	11,283	11,036		
職員数の内訳	正規職員	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		試掘調査を実施した遺跡数	件	目標	18	18	18	18	18	
			実績	20	18	24	14	11		
	(指標の説明) 試掘調査を実施した遺跡数									
	2	開発事業との協議件数	件	目標	100	100	100	150	150	
				実績	240	163	245	267	229	
(指標の説明) 開発事業との協議件数										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 1202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P250（教051）</p> <p>【事業の概要】 埋蔵文化財が確認されている場所で計画されている各種開発事業と調整を図り、文化財保護に努める。</p> <p>【事業の成果】 各種開発事業との調整を図るために試掘調査を11件実施した。 (調査箇所) 山手所在遺跡 57.0㎡ 可燃物処理施設 岩吉遺跡 34.5㎡ 宅地造成 宮長竹ヶ鼻遺跡 59.7㎡ 宅地造成 ほか 計 11件 570.1㎡</p> <p>【今後の課題・方向性】 近年、高速道路などの大型公共事業のほか民間開発に伴う問い合わせ件数も増加傾向にあり、公共工事だけでなく民間開発にも対応できるように体制を強化する必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	試掘調査を実施した遺跡数	111%	100%	133%	78%	61%
	2	開発事業との協議件数	240%	240%	245%	178%	178%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	埋蔵文化財包蔵地を把握する必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	周知の埋蔵文化財包蔵地で行われる事業に対して、試掘調査を実施し、調整を図る。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	開発事業に応じて適切な試掘調査箇所数及び遺構面等の確認を行っている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	周知の埋蔵文化財包蔵地で行われる開発はもとより、遺跡の範囲を確認するための調査については行政が負担している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	周知の埋蔵文化財包蔵地で行われる開発事業については、今後も試掘調査等を実施しながら調整を図る必要がある。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000744	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	文化財体験・活用推進事業(出土品保存修理)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	直営
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	出土品保存修理事業費			予算事業コード	01-09-04-05-11-08

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	発掘調査で出土した遺物
意図 (どのような状態にするために)	出土品が滅失しないように維持管理する。
手段 (どうするのか)	劣化の進行度合いにより出土品の優先順位を決め、順番に保存処理を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	出土品の保存処理 2件	出土品の保存処理 1件	出土品の保存処理 3件	出土品の保存処理 2件	出土品の保存処理 1件	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,879	1,953	1,963	1,960	2,019	
	直接経費 A	1,380	468	506	456	548	
	直接経費の財源内訳	国・県	920	312	336	304	364
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	460	156	170	152	184		
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	1,471		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		出土遺物を保存処理した件数	件	目標	2	1	3	1	1
	実績	2	1	3	2	1			
2		(指標の説明)	発掘調査により出土した遺物に保存処理を実施した件数						
		目標	0	0	0	0	0		
	実績	0	0	0	0	0			
3		(指標の説明)							
		目標	0	0	0	0	0		
	実績	0	0	0	0	0			

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 1202</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 発掘調査後から劣化していく出土品の保存処理を行うことにより、遺物の適切な管理を行う。</p> <p>【事業の成果】 桂見2号墳から出土した鉄刀の保存処理を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 発掘調査で出土した鉄製品や木製品は環境の変化により急速に劣化が進行していくので、劣化の進行具合を見極めたうえで順次保存処理を実施していく。また処理後の遺物については展覧会を開催し、市民に成果を還元していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	出土遺物を保存処理した件数	100%	100%	100%	200%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	出土遺物を適切に保管・管理している。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	出土遺物が劣化していかないように保存処理が行われている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	保存処理が計画的に行われている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	出土遺物は国民の共有財産であり、適切に保管・管理していくためには今後も継続的に実施する必要がある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後も計画的に保存処理を実施し、出土遺物の適切な管理・保管に努める。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000752	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	埋蔵文化財体験・活用事業(埋蔵文化財体験・活用)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	文化財保護法、鳥取市文化財保護条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	直営
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	埋蔵文化財体験・活用事業			予算事業コード	01-09-04-05-30-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民及び市内の小学校
意図 (どのような状態にするために)	出土品を直接触れる機会を創出したり、発掘調査の成果を市民に公開する場を設ける。
手段 (どうするのか)	出土品の活用を図るために小学校へ出前授業を実施する。展示会は博物館はもとより、公民館や図書館等の施設で開催し市民へ調査成果等を還元する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 出土品の展示会 遺跡の見学会 小学校への出前授業	平成24年度 出土品の展示会 遺跡の見学会 小学校への出前授業	平成25年度 出土品の展示会 遺跡の見学会 小学校への出前授業	平成26年度 出土品の展示会 遺跡の見学会 小学校への出前授業	平成27年度 出土品の展示会 遺跡の見学会 小学校への出前授業	
	年度別実績	・出土品の展示会(駅南庁舎 1回) ・遺跡の見学会(梶山古墳公開、バスツアーの開催) ・小学校への出前授業(市内30校) ・レプリカの複製	・出土品の展示会(駅南庁舎 1回) ・遺跡の見学会(梶山古墳、栃本廃寺跡 太閤ヶ平) ・小学校への出前授業(市内34校)	・出土品の展示会(やまびこ館 1回) ・遺跡の見学会(梶山古墳、栃本廃寺跡、太閤ヶ平) ・小学校への出前授業(市内31校)	・出土品の展示会(駅南庁舎 1回) ・遺跡の見学会(地区公民館 1回) ・遺跡の見学会(梶山古墳、栃本廃寺跡、太閤ヶ平) ・小学校への出前授業(市内33校)	・出土品の展示会(駅南庁舎 1回) ・遺跡の見学会(地区公民館 2回) ・遺跡の見学会(梶山古墳、栃本廃寺跡) ・小学校への出前授業(市内35校)	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	4,187	3,954	4,137	2,823	3,731	
	直接経費 A	1,938	1,726	1,951	566	1,524	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,387	1,143	1,409	424	1,129
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	551	583	542	142	395	
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	2,207		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	発掘展の入場者数	人	目標	0	0	500	1000	1000
		(指標の説明) 発掘展の入場者数	実績	0	0	2500	1000	1000	
	2	遺跡見学会の参加者数	人	目標	0	0	100	130	160
		(指標の説明) 遺跡見学会の参加者数	実績	0	0	300	179	200	
	3	出前授業実施率	%	目標	0	0	68	72	80
		(指標の説明) 出前授業実施率	実績	0	0	70	70	79.5	

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 1202</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 多くの市民に地域の歴史を知ってもらい、文化財保護の啓発を図る。</p> <p>【事業の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校への出前授業を実施した。(市内44校中35校) ・鳥取市中央図書館及び地区公民館で埋蔵文化財展を行った(約1000名) ・史跡の見学会を行った(約200名) ・中世山城のガイドブックの作製 <p>【今後の課題・方向性】 小学校への出前授業では、実施校の満足度高く、次年度以降も希望する学校は100%である。今後は授業内容に変化を持たせ未実施の学校へも働きかけをし、最終的には全学校で実施できるようにする。展示会は博物館だけではなく、公民館や図書館等の施設で開催し、より積極的に市民へ調査成果等を還元できるようにする。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標 達成 率	1	発掘展の入場者数			500%	100%	100%
	2	遺跡見学会の参加者数			300%	138%	138%
	3	出前授業実施率			103%	97%	99%

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	埋蔵文化財の調査成果を公表・活用することによって市民の文化財への関心や保護の意識を高めることができる。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	出土遺物を有効に活用することができており、今後は内容を拡充していく必要がある。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	他の団体と連携を図り、文化財の公開活用が行われている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	事業の募集案内やイベントの工法など公平性に努めた。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	整備した史跡等の活用や出土遺物を広く市民に見ていただく機会を創出し、より文化財に親しみを持っていただけるように事業を拡充させていく必要がある。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000739	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(仁風閣・宝扇庵)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	昭和51年度 ~ 全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	仁風閣及び宝扇庵の設置及び管理に関する条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	施設管理
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	指定管理
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	仁風閣・宝扇庵管理費		予算事業コード	01-09-04-05-07-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	仁風閣・宝扇庵
意図 (どのような状態にするために)	施設の維持管理を行うとともに、利用者の増加を図る。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、各種展示・体験活動等を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成24年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成25年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施 防災設備の改修	平成26年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施 防災設備の改修	平成27年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施 池の改修	
	年度別実績	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施 防災設備の改修	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施 防災設備の改修	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施 池の改修	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	26,693	29,375	26,741	52,744	30,076	
	直接経費 A	24,444	27,147	24,555	50,487	27,869	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	580	16,187	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	146	134	0
		一般財源	24,444	27,147	23,829	34,166	27,869
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	2,207		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	仁風閣・宝扇庵の入場・利用者数	単位	人	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		実績	31700	32750	31000	31000	31000					
	(指標の説明)	仁風閣・宝扇庵の入場・利用者数	実績	34143	34755	29239	34615	38478				
2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	0	0	50	55	60				
	実績	0	0	55	55	85						
3	(指標の説明)	満足度調査で良いと答えた割合	目標	0	0	0	0	0				
	実績	0	0	0	0	0						

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 1202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P249（教050）</p> <p>【事業の概要】 仁風閣は明治40年、当時の皇太子（後の大正天皇）の山陰行啓に際し、宿舎として建設されたものである。ルネッサンス様式を基調とした木造二階建て、昭和48年、国重要文化財に指定された。仁風閣のほか宝扇庵及び宝隆院庭園の適正かつ円滑な管理運営を図るとともに、文化財愛護思想の啓発を図る。</p> <p>【事業の成果】 指定管理者による管理運営を行った。また、新たに、平成28年度から32年度までの指定管理者の指定を行った。 ○指定管理者 (公財) 鳥取市文化財団 ○業務の範囲 仁風閣等の利用に関する業務を実施した。 仁風閣等の施設及び設備の維持管理に関する業務を実施した。 仁風閣等の企画展示等に関する業務等を実施した。 期間限定喫茶や仁風閣・城跡ツアー等の新たな提案事業により、入館者が前年度から4,000人近く増加するなど、適正に業務執行が行われている。また、池の補修を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 仁風閣は市を代表する観光施設となっている。老朽化が進んでおり、近い将来、本格的な修理が必要となるが、外壁塗装等の特に傷みが進んでいる箇所については、早急に修理を行い、施設を観光活用等に活かす。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	仁風閣・宝扇庵の入場・利用者数	108%	106%	94%	112%	124%
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合			110%	100%	100%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	国指定重要文化財として保存活用していく必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	貴重な建造物を適正に管理・活用できている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	文化財的価値を損なわないよう、更なる活用を図る。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	仁風閣は市民共有の財産であり、利用の公平性は確保されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	引き続き指定管理者による適正な管理運営を行い、観光資源としての価値を高める。耐震改修や大規模改修について、計画的に実施する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000754	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成13年度 ~ 全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	鳥取市青谷上寺地遺跡展示館の設置及び管理に関する条例・鳥取市あおや郷土館の設置及び管理に関する条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別			平成23年度	平成27年度	事業分類区分
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合			0%	0%	施設管理
	主な文化財施設への入込数			8,052人	4,000人	運営方法
予算	予算事業名	青谷上寺地遺跡展示館・あおや郷土館運営管理費等			予算事業コード	01-09-04-05-32-01
			0	0	会計区分	一般会計

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市青谷上寺地遺跡展示館 鳥取市あおや郷土館
意図 (どのような状態にするために)	施設の維持管理を行うとともに、利用者の増加を図る。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、各種展示・体験活動等を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成24年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成25年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成26年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成27年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	
	年度別実績	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	38,081	39,137	36,174	37,976	38,284	
	直接経費 A	35,832	36,909	33,988	35,719	36,077	
	直接経費の財源内訳	国・県	4,383	5,960	4,377	4,814	4,749
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	10	19	24	143	25
		一般財源	31,439	30,930	29,587	30,762	31,303
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	2,207		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	青谷上寺地遺跡展示館の利用者数	人	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				目標	11000	10000	7500	7750	8000
			実績	7886	7864	8427	9061	9669	
			(指標の説明) 利用者数						
	2	あおや郷土館の利用者数	人	目標	8000	9000	8000	8400	8800
				実績	6825	9761	6899	10146	9960
		(指標の説明) 利用者数							
3	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	0	0	50	55	60	
			実績	0	0	53	56.6	63.7	
		(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合							

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 1202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P251（教054）</p> <p>【事業の概要】 鳥取市青谷上寺地遺跡展示館及び鳥取市あおや郷土館の適正かつ円滑な管理運営を図るとともに、常設展示・特別展示・体験活動等を通じて文化財愛護の啓発育成を図る。</p> <p>【事業の成果】 指定管理者による管理運営を行った。また、新たに、平成28年度から32年度までの指定管理者の指定を行った。 ○指定管理者 (公財) 鳥取市文化財団 ○業務の範囲 青谷上寺地遺跡展示館等の利用に関する業務を実施した。 青谷上寺地遺跡展示館等の施設及び設備の維持管理に関する業務を実施した。 青谷上寺地遺跡展示館等の企画展示等に関する業務を実施した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 あおや郷土館ロビーに前々年度からジオパークや青谷地域の紹介コーナーを設置している。両施設とも当面現状を維持するが、ジオパークや青谷上寺地遺跡整備等、周辺事業との整合を図りながら、今後のあり方を検討する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	青谷上寺地遺跡展示館の利用者数	72%	79%	112%	117%	121%
	2	あおや郷土館の利用者数	85%	85%	86%	121%	121%
	3	満足度調査の総合で良いと答えた割合			106%	103%	106%

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	地域文化の発信拠点、また青谷上寺地遺跡の情報発信拠点として重要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	展覧会や地域の文化活動の発表の場として(あおや郷土館)、貴重な出土品の紹介展示等の場として(展示館)、設置目的を達成している。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	特に収蔵施設でもある郷土館の老朽化対策や空調機更新等が必要となる時期である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市域の西側に位置しているため、比較的近隣の住民の利用が多くなっているが、展示館は全国や県内からの利用者も多い。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	両施設とも当面現状を維持するが、ジオパークや青谷上寺地遺跡の整備計画等、周辺事業との整合を図りながら今後のあり方を検討する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000756	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(歴史博物館)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成12年度 ~ 全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	鳥取市歴史博物館の設置及び管理に関する条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	施設管理
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	指定管理
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	歴史博物館管理費			予算事業コード	01-09-04-05-34-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市歴史博物館
意図 (どのような状態にするために)	施設の維持管理を行うとともに、利用者の増加を推進する。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、各種展示・体験活動等を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成24年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成25年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成26年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成27年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	
	年度別実績	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	149,855	162,415	155,406	158,484	155,617	
	直接経費 A	147,606	160,187	153,220	156,227	153,410	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	49	49	59	61	56
一般財源	147,557	160,138	153,161	156,166	153,354		
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	2,207		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		鳥取市歴史博物館の利用者数	人	目標	27000	28000	26000	27000	28000
	(指標の説明) 利用者数		実績	38042	22614	44045	33815	28714	
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	0	0	50	55	60
		(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合		実績	0	0	54	50.2	49.8
	3			目標	0	0	0	0	0
(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0	

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 1202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P252（教055）</p> <p>【事業の概要】 鳥取市歴史博物館の適正かつ円滑な管理運営を図るとともに、常設展示・特別展示等を通じて文化財の愛護思想の啓発育成を図る。</p> <p>【事業の成果】 ①指定管理者による管理運営を行った。また、新たに、平成28年度から平成32年度まで指定管理者の指定を行った。 ○指定管理者 (公財) 鳥取市文化財団 ○業務の範囲 博物館の利用に関する業務を実施した。 博物館の施設及び設備の維持管理に関する業務を実施した。 博物館の企画展示等に関する業務を実施した。 ②鳥取市歴史博物館第2駐車場の警備委託を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 施設及び常設展示等が老朽化しつつあり、市域の拡大等に合わせた展示更新等を検討する必要がある。</p> <p>※その他財源の諸収入は、施設使用に伴う光熱水費等。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	鳥取市歴史博物館の利用者数	141%	81%	169%	125%	103%
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合			108%	91%	91%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	本市の歴史文化の学習及び発信拠点として必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	企画展覧会は特別展を1回から2回開催に増やすなど充実させているが、常設展示や施設の更新等を検討する必要がある。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	老朽化する施設と旧態化する常設展示の更新等について、効率的な方策を検討する必要がある。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	来館者だけでなく、市の歴史文化の発信によって、活動は市民に広く還元されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	施設及び常設展示等が老朽化しつつあり、市域の拡大等に合わせた展示更新等を含め、28年度より在り方を検討する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000757	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	文化施設管理事業(因幡万葉歴史館)		所属名	教育委員会事務局 文化財課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	10	ふるさとを愛し 次代を担う人づくり		事業期間	平成 6年度 ~ 全期
	政策	02	文化・芸術に親しみ、楽しむ		根拠法令、根拠計画等	鳥取市因幡万葉歴史館の設置及び管理に関する条例
施策	1202	文化財の保存・活用				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	施設管理
	「文化財が適切に保存・管理されている」と思う市民の割合		0%	0%	運営方法	指定管理
	主な文化財施設への入込数		8,052人	4,000人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	因幡万葉歴史館管理費			予算事業コード	01-09-04-05-35-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市因幡万葉歴史館
意図 (どのような状態にするために)	施設の維持管理を行うとともに、利用者の増加を図る。
手段 (どうするのか)	公益財団法人鳥取市文化財団を指定管理者に指定し、施設の円滑な管理運営と、各種展示・体験活動等を実施する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成24年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成25年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成26年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	平成27年度 施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	
	年度別実績	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	施設の管理運営 各種展示会の開催 講座・体験活動の実施	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	53,406	57,523	55,083	55,790	50,321	
	直接経費 A	49,657	53,810	51,440	52,029	46,642	
	直接経費の財源内訳	国・県	506	329	273	398	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,344	24	21	22	22
		一般財源	47,807	53,457	51,146	51,609	46,620
人件費 B	3,749	3,713	3,643	3,761	3,679		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		因幡万葉歴史館の利用者数	人	目標	20100	20500	21000	22000	23000
			実績	21156	28668	22019	23732	26038	
	2	(指標の説明) 利用者数							
		満足度調査の総合で良いと答えた割合	%	目標	0	0	50	55	60
			実績	0	0	58	71.8	68	
3	(指標の説明) 満足度調査で良いと答えた割合								
			目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0		

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 保存整備係 0857-20-3367</p> <p>【9次総の施策体系】 1202</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P252（教056）</p> <p>【事業の概要】 鳥取市因幡万葉歴史館の適正かつ円滑な管理運営を図るとともに、展示等を通じて文化財の愛護思想の啓発を図る。また、因幡万葉歴史館に隣接する国府史跡ネットワーク案内広場の維持管理を行う。</p> <p>【事業の成果】 ①指定管理者による管理運営を行った。また、新たに、平成28年度から平成32年度まで指定管理者の指定を行った。 ○指定管理者 (公財) 鳥取市文化財団 ○業務の範囲 因幡万葉歴史館の利用に関する業務を実施した。 因幡万葉歴史館の施設及び設備の維持管理に関する業務を実施した。 因幡万葉歴史館の企画展示等に関する業務を実施した。 ②国府史跡ネットワーク案内広場の維持管理を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 鳥取市歴史博物館の分館施設として、古代から中世までを調査研究する施設であり、施設機能の統合等を含めて、施設のあり方を検討していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	因幡万葉歴史館の利用者数	105%	140%	105%	108%	113%
	2	満足度調査の総合で良いと答えた割合			116%	131%	131%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	因幡国庁が置かれた地域としてのアイデンティティを示す施設として、また、地域文化の活動拠点として活用されている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	入館者へのアンケート調査等でも評価され、順調に成果が出ている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施設の老朽化により、空調施設の改修頻度が高くなっている。施設設計に伴う制限があり、効率的な改修ができない場合がある。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	展示等以外にも市民の創作活動や文化活動、ボランティア活動等を行っており、市民参加が可能である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	施設や常設展示が老朽化しつつあり、展示更新や施設機能の統合等、施設のあり方を検討していく。	